

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
多機能型事業所なんくるみいたち		2025年 3月 31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・指定基準のスペースを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	・指定基準以上の人員を配置している。	・今後もさらなる採用活動に向けて取り組んでいく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・施設内はポスター等で視覚化し、分かりやすい環境を心がけている。	・施設が不備な部分は、職員で修繕中。施設内はポスター等で視覚化し、分かりやすい環境を心がけていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・清潔で、心地よく過ごせる環境を整えるよう環境整備を毎日行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・状況に応じて個別の部屋を使用する環境を整えている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	・申し送りや全体ミーティングを行い、研修受講で業務改善を図っている。	・今後は、業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、職員が参画しやすいよう、引き続き取り組んでいく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・アンケートを配布し、保護者の意向を把握し、業務改善へと繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・申し送りや全体ミーティング、個別業務日報などで、業務改善を図っている。	・引き続き、申し送りや全体ミーティングの時間を設け業務改善を図っていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0	・定期的に外部講師と外活動の評価を踏まえたうえで、業務改善に繋げている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・年3回の社内研修と専門的な研修を開催。また、外部研修に積極的に参加している。 ・社内研修を定期的に行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・ホームページで公開している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	・職員間で情報共有、意見交換の時間を設け、放課後デイサービス支援計画・評価を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	・職員間で情報共有、意見交換の時間を設け、放課後デイサービス支援計画・評価を作成している。	・今後も引き続き、職員間で情報共有、意見交換の時間を設け、放課後デイサービス支援計画・評価を作成していく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	・申し送りで放課後デイサービス計画を共有し、計画に沿った支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・医療機関で受けた発達検査結果をもとに、児童の全体像の把握や支援計画立案の参考にしている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・決められた支援内容に基づいて作成している。	・支援内容に基づいて作成していることを分かりやすく説明していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	・申し送り、全体ミーティング等で職員の話し合いを行っている。	・今後も引き続き、申し送りの時間を作りながらプログラムを立案していく。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	・申し送りと全体ミーティングで、行事の見直しを行っている。	・今後も引き続き申し送りの時間を作りながら、行事の見直しを行っていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・子どもの特性や状況に応じて、個別と集団を組み合わせ、放課後等デイサービス支援計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	・申し送りにて、その日の内容や役割分担の共有し支援を行っている。	・今後も引き続き、申し送りの時間を作り、その日の内容や役割分担を行い支援していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	・申し送りや全体ミーティングで、支援の振り返りや気づいた点の共有を行っている。	・今後も引き続き、支援の振り返りの時間を設け、共有の機会をつくっていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・日々、活動記録の記入を行ない、検討・改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・計画の中間評価を定期的に行い、必要に応じて計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・放課後等デイサービスガイドラインに沿って支援を行っている。	・今後も引き続き、放課後等デイサービスガイドラインの読み合わせを行い、ガイドラインに沿って支援していく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	・プログラムを通して自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・児童発達支援管理責任者や管理者が代表して参加している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・モニタリング会議等を通じて関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	8	0	・研修へ積極的に参加している。	・対象となるケースが出た場合、必要に応じて情報共有や社内研修、ケースカンファレンスを行っていく。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	1	併設する保育園の園児との交流や活動を行っている。	テアトルedu発表会などを通して、保育園の園児との交流を図っている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・基本的に保護者に事業所へのお迎えをお願いしており、直接話す時間を持っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	・必要に応じて支援や情報提供を行っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・運営規程、重要事項説明書に基づいて説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・サービス利用計画書を元にこどもや家族の意向を確認しながら作成している。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	・個別支援計画書を保護者に見せながら説明し、保護者から同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・保護者の要望に沿って話し合いながら対応している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	・親の会「まんじん」を通して、必要に応じた情報提供や支援を行っている。	・今後は家族が参加できる行事を検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・苦情ボックスを設置している。また、連絡帳でのやり取りやお迎え時の対応等で、保護者からの意見や苦情に迅速に対応し、報告も行う。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・ニューズレターや案内を定期的に発行している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・個人情報に関する誓約書を交わし、情報保護に努める。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・ベビーサイン、絵カード等を使い行う。保護者への連絡帳やメモで様子を伝えている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	・フリーマーケット等、地域の方を招待するプログラムを企画運営している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・事業所間で周知を行っている。ただし、保護者への周知が不十分なので、今後行っていきたい	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	・年案行事をたて、定期的実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・入所前にアセスメントを行い、家庭や学校での状況を確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	・食物アレルギーの利用児はこれまでにないが、研修を通して職員は学んでいる。	・受け入れる際は、指示書に基づき対応する。 →現段階で必要とする利用者がいないため、行っていない。状況に応じて、連絡体制の整備を行う。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	・安全対策マニュアルを作成し、支援を行っている。	・安全計画の保護者周知が不十分なので、今後は行っていきたい。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	・事業所間で周知を行っている。	・保護者への周知が不十分なので、今後行っていきたい
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・職員を研修へ積極的に派遣し、社内で共有する。	・今後も引き続き、虐待防止に関する研修を職員で受講するようしていく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	・研修を通して学びを深めている。	・対象となりうる状況が起きた場合、どのような場面で身体拘束を行うか、今後も研修や会議で学びを深めてく。